



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社ビジネスブレイン太田昭和 上場取引所 東  
 コード番号 9658 URL <https://www.bbs.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小宮 一浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 上原 仁 TEL 03-3507-1302  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,106	3.5	1,075	17.0	1,105	11.8	647	5.1
2020年3月期第2四半期	13,624	18.3	919	26.1	988	33.5	616	33.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 733百万円 (13.8%) 2020年3月期第2四半期 644百万円 (28.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	55.04	
2020年3月期第2四半期	52.73	

当社は、2020年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度(2020年3月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2021年3月期第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は110円08銭、2020年3月期第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は105円46銭となります。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	18,778	10,617	54.7
2020年3月期	17,627	10,043	55.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 10,268百万円 2020年3月期 9,704百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		25.00		30.00	55.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2020年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、2021年3月期(予想)の1株当たりの年間配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2021年3月期(予想)の1株当たりの年間配当金は60円となります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	0.5	2,200	3.3	2,300	2.0	1,450	1.6	123.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 6「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	16,000,000 株	2020年3月期	16,000,000 株
2021年3月期2Q	4,224,864 株	2020年3月期	4,268,530 株
2021年3月期2Q	11,754,140 株	2020年3月期2Q	11,676,621 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

当社は、2020年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度(2020年3月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、主として以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

(1) 当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢

(2) 当社グループが提供するサービスに対する需要動向

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・2020年11月18日(水)……機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 新型コロナウイルス感染症の影響について .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係) .....	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年度末に発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、引き続き個人消費の低迷や雇用環境の悪化など先行き不透明な状態が続いております。

このような経済環境の中、当社グループの受注高は、第1四半期連結会計期間では前年同四半期を若干下回ったものの当第2四半期連結会計期間において回復し、当第2四半期連結累計期間では前年同四半期を上回る実績を確保出来ました。売上についても前連結会計年度末の受注残高の積み上げ等により前年同四半期を上回る実績を確保しております。また、売上総利益は、外注依存度の減少等による利益率の改善や売上高の増加により前年同四半期を上回る結果となりました。販売費及び一般管理費については、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた出張規制、テレワークの推奨により旅費交通費等の経費発生が抑制されたものの、当初予定していた人財採用活動に伴う費用発生や人件費増加により前年同四半期と比較し若干増加しております。

その結果として、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高14,106百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益1,075百万円（前年同四半期比17.0%増）、経常利益1,105百万円（前年同四半期比11.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益647百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

[コンサルティング・システム開発事業]

コンサルティング・システム開発事業の当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高10,673百万円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント利益929百万円（前年同四半期比30.3%増）となりました。

事業別の内訳は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2019年 9月期	2020年 9月期	対前年同 四半期増減	2019年 9月期	2020年 9月期	対前年同 四半期増減
会計システムコンサルティング 及びシステム開発	6,776	6,790	14	596	758	162
金融業界向けシステム開発	2,658	2,372	△286	66	68	2
情報セキュリティコンサルティ ング	888	1,190	302	12	70	58
P L M支援ソリューション	433	449	16	70	65	△5
(調整)	△364	△128	236	△31	△32	△1
セグメント計	10,391	10,673	282	713	929	216

[マネージメントサービス(BPO)事業]

マネージメントサービス(BPO)事業の当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高3,592百万円(前年同四半期比4.6%増)、セグメント利益140百万円(前年同四半期比26.2%減)となりました。

事業別の内訳は次のとおりであります。

(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2019年 9月期	2020年 9月期	対前年同 四半期増減	2019年 9月期	2020年 9月期	対前年同 四半期増減
人事給与関連アウトソーシング	1,424	1,438	14	166	194	28
グローバル企業向けアウトソーシング	673	635	△38	△27	△127	△100
外資企業向けアウトソーシング	396	413	17	13	14	1
オンサイトBPO	1,024	1,131	107	38	60	22
(調整)	△83	△25	58	0	△1	△1
セグメント計	3,434	3,592	158	190	140	△50

(注) 上記のグローバル企業向けアウトソーシングの2020年9月期セグメント利益には、一部の不採算プロジェクトにおいて今後発生が見込まれる損失66百万円を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

〈資産、負債及び純資産の状況〉

当第2四半期連結会計期間末の総資産は18,778百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,151百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加1,354百万円及び株価上昇による投資有価証券の時価評価額の増加101百万円の一方、債権回収による受取手形及び売掛金の減少385百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計額は8,160百万円となり、前連結会計年度末に比べ577百万円の増加となりました。その主な要因は、未払法人税等の増加208百万円、買掛金の増加129百万円、借入金の増加149百万円及び受注損失引当金の増加49百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計額は10,617百万円となり、前連結会計年度末に比べ574百万円増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加457百万円等によるものであります。

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響について

当社グループでは、お客様や従業員の健康・安全確保を第一としてテレワークによる業務遂行を推奨しております。一部業務上の理由からテレワークが困難な従業員については、交代出勤による出勤日数の削減や時差通勤などの感染予防対策を徹底し業務にあたっております。これらの取り組みにより、現在のところ事業活動に対して重大な影響は出ておりません。

また、一部の顧客においてプロジェクトの延期等の動きはあるものの、情報セキュリティコンサルティング事業において多くの引き合いを頂くなど、当第2四半期連結累計期間の業績に関しては前年同四半期を上回る実績を確保しており、通期業績予想においても前連結会計年度同等の数値を見込んでおります。

しかしながら、依然として新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せず、状況が急変した場合、当社グループの見通し大きな影響を与える可能性があります。

なお、新型コロナウイルス感染症に関するリスクについて、現時点では前期末以降、大きな変化は認識しておりません。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年9月25日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的として、2021年3月期の期末決算より、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用する予定であります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,807,627	8,161,534
受取手形及び売掛金	5,582,900	5,197,904
有価証券	300,000	300,000
仕掛品	97,484	202,780
その他	1,024,270	1,012,198
貸倒引当金	-	△245
流動資産合計	13,812,281	14,874,171
固定資産		
有形固定資産	328,432	317,500
無形固定資産		
のれん	68,586	49,629
その他	491,713	457,337
無形固定資産合計	560,299	506,966
投資その他の資産		
投資有価証券	1,163,383	1,264,432
その他	1,902,928	1,814,608
貸倒引当金	△140,718	-
投資その他の資産合計	2,925,593	3,079,040
固定資産合計	3,814,324	3,903,506
資産合計	17,626,605	18,777,677
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,219,207	1,348,050
1年内返済予定の長期借入金	-	42,900
未払法人税等	377,694	586,104
賞与引当金	914,784	906,092
役員賞与引当金	40,400	41,630
受注損失引当金	30,265	79,046
その他の引当金	15,244	-
その他	2,098,068	2,160,070
流動負債合計	4,695,662	5,163,892
固定負債		
長期借入金	275,740	381,750
退職給付に係る負債	2,341,208	2,341,829
従業員株式付与引当金	118,447	107,123
役員報酬BIP信託引当金	57,728	65,444
その他	94,330	100,359
固定負債合計	2,887,453	2,996,505
負債合計	7,583,115	8,160,397
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,233,490	2,233,490
資本剰余金	2,866,728	2,866,728
利益剰余金	6,137,610	6,594,597
自己株式	△1,504,828	△1,467,048
株主資本合計	9,733,000	10,227,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,041	69,067
退職給付に係る調整累計額	△37,514	△28,967
その他の包括利益累計額合計	△29,473	40,100
非支配株主持分	339,963	349,413
純資産合計	10,043,490	10,617,280
負債純資産合計	17,626,605	18,777,677

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	13,623,738	14,105,986
売上原価	10,845,620	11,089,446
売上総利益	2,778,118	3,016,540
販売費及び一般管理費	1,858,731	1,941,237
営業利益	919,387	1,075,303
営業外収益		
受取利息	10,839	10,545
受取配当金	9,821	2,916
助成金収入	49,906	4,366
その他	9,548	13,848
営業外収益合計	80,114	31,675
営業外費用		
支払利息	1,021	1,382
有形固定資産除却損	1,732	0
貸倒引当金繰入額	7,000	—
その他	1,316	798
営業外費用合計	11,069	2,180
経常利益	988,432	1,104,798
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	※ 140,718
特別利益合計	—	140,718
特別損失		
関係会社株式評価損	—	※ 124,837
特別損失合計	—	124,837
税金等調整前四半期純利益	988,432	1,120,679
法人税等	359,775	457,836
四半期純利益	628,657	662,843
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	615,703	646,959
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,954	15,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,531	61,828
退職給付に係る調整額	9,199	8,351
その他の包括利益合計	15,730	70,179
四半期包括利益	644,387	733,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	631,417	716,532
非支配株主に係る四半期包括利益	12,970	16,490

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※ 特別利益の「貸倒引当金戻入額」は、前連結会計年度以前に、関係会社BBS(Thailand)Co.,Ltd.の貸倒懸念債権について計上した貸倒引当金の戻入れであります。特別損失の「関係会社株式評価損」は、同社の株式の評価損であります。